

No.	意見対象	意見概要	考え方等
1	吹田2020ロードマップ概観	<p>ロードマップの概観(P4)と基本計画の他の施策の連携方針とがあっていない。</p> <p>概観図がマトリクスであれば、本来、縦横両方で見れるものではないか。この図は、何を目的として作成したのか。</p> <p>ロードマップの概観は、内部的なもので、今回の総計の趣旨は、さまざまな主体と共有してということでは、意味はあるのか</p>	<p>「ロードマップの概観」は、序論に入る前に、計画の全体構成が分かるようにという趣旨で作成しており、指摘の部分は各施策の関連の全体像を示すという目的で作成したものであるが、縦横の関係や、関連が見づらいという趣旨の意見もあり、施策を表すキーワードと共に全体的な体系を示す、シンプルで分かりやすいものに修正します。</p> <p>→資料2のP1</p>
2	吹田2020ロードマップ概観	<p>ロードマップの概観(P4)の「魅力にあふれ暮らし豊かで元気なまち」は最初の3行はまちの外のことを書いている。まちの中のことを書いていない。</p> <p>新しいまちの魅力というところに集約されており、今まで培ってきたまちづくりの思いなど、根本の部分が抜け落ちているように感じる。</p>	<p>これまでのまちづくりで培ってきた魅力に言及し、まちづくりの視点の趣旨が全体をとおして要約する内容に修正します。</p> <p>→資料2のP1</p>
3	基本構想第3章・第4章	<p>全体的に「聞こえの良い」ことばが「ルート」として並べられています、何のために何をどうするのか、ぱっと見て非常にわかりにくいです。</p> <p>施策として項目立てられている「平和」「人権」「男女共同参画」・・・という言葉を見出しにした方がずっとわかりやすいです。</p>	<p>第3章 将来像へのルート(基本方向)、第4章 ルート(基本方向)とまちのイメージについて、政策、施策をイメージできるキーワードを盛り込むように修正します。</p> <p>→資料2のP1～P6</p>
4	基本計画ルート2-2	<p>障がい者の雇用・就労・実習の場の確保を市が率先して進めてほしい</p> <p>「企業や事業所における障がい者の雇用や就労実習の場の提供など、就労支援を促進します。」という前に、「まず隋より始めよ」という理由で、「2-2の2の(2)に、「庁内実習」「吹田市としての実習」などの内容を加える。」という提案がされた。</p>	<p>民間に促すということに限定しないような読み方ができるシンプルな表現に修正します。</p> <p>→資料2のP7</p>

No.	意見対象	意見概要	考え方等
5	基本計画ルート	<p>「第3次総合計画」から引き続き継続を求めたい点 「案」には現在の「第3次総合計画」に記されているながら、完全に抜け落ちている記述があります。以下の部分は市役所の役割として大変重要な部分ですので必ず残してください。</p> <p>「生活を支える社会保障の充実」の「基本方向」(第3次総合計画p64)にある「1憲法に保障された健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を保障するとともに、対象となる世帯の応じたさまざまな自立支援の推進に努めます。」と、「計画」にある「低所得者福祉」「生活保護等の充実」「援助体制の充実」。同じく、「2高齢社会を迎えて医療保険・公的年金制度は、市民の健康と生活の安定に欠かせないものとなっています。 国の制度改革の動向を見ながら、市民がより豊かな生活を営むため可能な限り各機関と連携を図り支援を強めます。」と、「社会保障制度(国民健康保険・国民年金)」「制度改善の要望」「情報提供と相談機能の充実」。</p> <p>「計画策定の背景」として、「格差社会の進行、核家族化による家族機能の低下、地域コミュニティの弱体化」(p18)があり、「終身雇用と言う形態が崩れ、契約社員や非正規雇用などの不安定な雇用が増加」しています。 「事業所数は平成3年以降減少傾向にあります」(p22)そのため、「雇用の安定」や「雇用就労促進」や「社会保障」の施策は「対応が求められる施策」(p15)の重点となっています。そのため、第3次総合計画にある上記表現は外すべきではありません。</p>	<p>以下のとおり修正します。</p> <p>○2-3 2「重点取組と行政の役割」に追記 (4)「安心な暮らしの支援」として ・生活保護制度の適切な運営と自立支援の推進に努めます。 【生活福祉】</p> <p>・国民年金の制度に関する情報を発信し、相談機能の充実に努めるとともに給付の充実等について国に要望していきます。 【国民年金】</p> <p>→資料2のP8</p> <p>○2-4 1「まちの現状と課題」に追記 ・国民健康保険は、我が国の皆保険制度の根幹を支える制度であるため、財政基盤の強化が求められていますが、その財政運営については、医療技術の高度化、加入者の高齢化などにより保険給付費等が増大し、年々厳しいものになっています。</p> <p>2「重点取組と行政の役割」に追記 (4)「安心な暮らしの支援」として ・社会保障制度の充実に向け、国民健康保険等の保険財政基盤強化や安定的で持続可能な医療保険制度の改革を国に要望していきます。 【国民健康保険】</p> <p>→資料2のP9</p>
6	基本計画ルート	<p>市民病院が独立行政法人化され、東部拠点の国立循環器病研究センターの隣に移転される話がありますが、このことについては具体的に触れられていないので、入れるべきだと思います。</p> <p>新しくなる市民病院に対しては、病院の中に、障害者に関わる診療科を設置するか、障害者歯科を実施するか、夜間の小児救急医療の復活や小児科の充実、市民病院用のコミュニティバスの設置など市民の期待するところは非常に大きいと思います。ぜひ総合計画案の中に取り入れてもらいたいと思います。</p>	<p>具体的な取り組みについては、実施計画や、個別の分野別計画で補完・具体化することとしております。</p> <p>ご指摘の市民病院の独立行政法人化や移転に伴う具体的な方向性などにつきましては、その方向性等を示す「地方独立行政法人市立市民病院 中期目標」を基本計画(案)の「5 関連する分野別計画等」の欄に追記します。</p> <p>→資料2のP10</p>

No.	意見対象	意見概要	考え方等
7	基本計画ルート 3 ・ 3	<p>就学前から15歳までの一貫した英語力とは何か？ 15歳でどういった英語力が完成すると考えているのか？ 15歳で英語が喋れるということになるのか？が分からない。 どういった状態になることを目指しているのかを示していただきたい。</p>	<p>「一貫した英語力」とは一貫したカリキュラムからなる指導により、身に付く力であり、現在教育委員会では就学前から中学校までを見通したカリキュラムを作成・検討しております。 今後も、英語力をつけることにより、コミュニケーション能力の育成に取り組んでまいります。</p> <p>なお、「就学前から15歳までの一貫した英語力を育成します。」の表現については、「就学前から15歳までの一貫した英語教育により、子どもの英語力を育成します。」に変更します。</p> <p>→資料2のP11</p>
8	基本計画ベース2 ・ 1	<p>吹田市の特徴として「暮らしを支える生活関連施設」(p12)が充実していることがあります。ところが、「施設の集約化」や「公共施設の適正化」を理由として財源確保に努める」(p126)としています。これでは吹田の良さを手放すこととなります。再考を求めます。</p> <p>公共施設の計画的な維持・保全・整備について 市政に対する満足度が大変高いと喜ばれているので子育て住みやすさで吹田市に転入してきた人が多いとききました。 ライフサイクルコストの縮減の為、財源確保の為、集約化すると吹田市の良さがなくなり市民の財産を減らす事にもなります。 市民本意で考えてください。</p>	<p>「公共施設の最適化を図り財源確保に努めます」という原案から、「公共施設の最適化を図り、施設の維持・保全・整備のための財源確保に努めます」という目的を明確化した表現に修正します。</p> <p>→資料2のP13</p>
9	ベース2 ・ 4	<p>ベース2 行政経営の施策体系について</p> <p>市民サービスの向上がくるのか。 行財政運営と人材育成があって、効果として「市民サービスの向上」があるのではないかと。手段と成果ということで、レベルの異なるものがごっちゃになっており、整理したほうが良いのでは。</p> <p>市民サービスを向上します。というものが、持続可能なまちづくりのための行政経営の下にくるのは、違和感がある。</p> <p>(資源)パイが小さくなるのに、市民サービスが向上するのか。持続可能なという目的のしたに、市民サービスを向上というのが相応しいのか。</p> <p>今のタイトルでは政策を拡充するという捉え方をされるのでは。</p>	<p>ベース2の基本姿勢で示している「持続可能なまち」とは、人々の活動が活発で元気なまち、そして人が住みたい・住みつづけたと思うまちです。</p> <p>そうしたまちをつくるためには、住む人にとって便利で利用しやすい多様なサービスが享受できるようにすることが大切であることから、「持続可能なまち」をつくるために行政が取り組み、めざすものとして「市民サービスの質的向上を図る」という表現に修正します。</p> <p>→資料2のP12、P14</p>